

## 正副議長就任記者会見（令和5年5月臨時会）

日時：令和5年5月11日（木）14：00～14：17

場所：観光スポーツ文教警察委員会室

高山議長



福羅副議長



（テレビ愛媛：幹事社）

正副議長就任記者会見を始めさせていただきます。

なお、議長は次の公務がありますので、記者会見の時間は、14時20分までとさせていただきます。まず初めに、議長から挨拶をお願いします。

（議長）

先ほど本会議におきまして、第111代議長を仰せつかりました高山康人でございます。長年にわたって築き上げられた県議会の伝統を守り、公平、公正で円滑な議会運営を心掛けますとともに、県民の皆様の声を県政に反映できるよう、県民目線に立った議会の実現に努めて参る所存でございます。

また、国政や県政の動き、各会派の意見を十分に踏まえた上で、県益を守るという立場で意見の集約を図っていきます。二元代表制の一翼を担う県議会の長として、副議長の力添えをいただきながら、県民の負託に応えて参りたいと思っておりますので、よろしく願い申し上げます。

（副議長）

同じく、第108代副議長を仰せつかりました福羅浩一でございます。県議会の円滑な運営のため、高山議長をしっかりと補佐し、職責を全うしていきたくと考えておりますので、よろしく願いいたします。

(テレビ愛媛：幹事社)

ありがとうございました。続きまして、代表質問がありますのでお願いします。県議会議員として新たな任期がスタートする中、二元代表制の一翼を担う県議会として、今後の議会運営や県民への情報発信のあり方について、お考えはいかがでしょうか。

(議長)

新任期が始まり、議員の顔ぶれや会派構成に変動がありましたが、多数の会派のそれぞれの御意見を十分に尊重しながら、歴代の議長が築いてこられた議会の権威を汚すことなく、公平、公正で円滑な議会運営に努めて参りたいと思います。

また、議員が県民に直接選ばれる二元代表制において、県議会議員として県民に、理解や関心を深めてもらうことが重要であり、県議会からの情報発信を強力に推進していくことが肝要だと思っています。このため、県議会では、県民に開かれた議会を目指し、県議会を分かりやすく紹介する広報誌「ようこそ県議会へ」を作成しているほか、議会改革検討協議会において、県議会ホームページの充実について検討しており、インターネット中継や、議案の議決結果、議員の賛否の状況の公開、よくある質問、FAQ コーナーの作成等を行ってきました。さらに、昨年度は新たに、CATV を活用した広報番組を作成するなど、情報発信力の強化を図っているところです。

今後も引き続き、県民の信頼と期待に応えるため、公平かつ公正な議会運営にこれまで以上に取り組むとともに、情報発信の強化に努めて参りたいと思います。

(テレビ愛媛：幹事社)

続きまして、副議長からお願いします。

(副議長)

今回、本当に大勢の皆様方からの推薦をいただき、本当にありがたく思うとともに、重責を担ったということについて、重く感じております。

議長がおっしゃられたように、県議会にとって、今後とも様々な発信力を高めていくということが大切であり、地域の声を聴く会などを通じて議会の存在をしっかりとアピールしていきたいと思っています。

また、議会で行き届くことではないかもしれませんが、各議員による SNS 等の発信を通じて、県民の皆様方に議会の活動を知り、興味を持っていただくことも大切だと思っていますので、議会改革検討協議会等も活用するなど、しっかり議員間で協議して進めていきたいと考えています。

(テレビ愛媛：幹事社)

ただ今のお答えに関しまして、質問のある社は社名と記者名を名乗った上でお願いします。

テレビ愛媛ですが、情報発信のあり方についても関わってくることもかもしれませんが、議会のデジタル化に関してはいかがでしょうか。

(議長)

県議会では、ペーパーレス化に取り組んでおります。引き続き、積極的に進めていきたいと考えています。

(副議長)

昨年9月にタブレットを使用するようになり、議案や日程などの面でペーパーレス化が進んでいますので、今後も、積極的に続けていきたいと思っております。そのほかの面でもペーパーレス化が適当なものがあれば、議会改革検討協議会や、議員間での議論を通じて進めていきたいと思っております。

(テレビ愛媛：幹事社)

議会改革に関してなんですが、最大会派として正副議長を取られたわけですが、少数会派との向き合い方をもう少しお聞かせください。

(議長)

挨拶でも申し上げましたとおり、少数会派の意見にも十分、耳を傾けて心配りをするとともに、多種多様な意見をしっかりと捉えて向き合っていきたいと思っております。

(副議長)

議長のおっしゃられるとおりですけれども、合流した自民党会派としても、そういった小さな声をしっかり聞いていくということが求められていると思っておりますので、議長ともども、十分に留意して参りたいと思っております。

(愛媛新聞)

愛媛新聞です。少し話が戻りますが、先ほど議会改革の話が出たと思うんですけれども、人口減少も進んでいく中で、定数の話であるとか、今後していかないといけないと考えておりますが、議長、副議長それぞれ、議会改革の中で定数削減の議論はどのようにお考えですか。

(議長)

その点も議論していかなければなりません、まだ少し先のことではないかとも思っておりますので、順次状況に応じ考えていきたいと思えます。

(テレビ愛媛：幹事社)

選挙区によって事情も違ったかと思うんですが、無投票のエリアも多かった中、投票数が過去最低だったということで、この辺りの受け止めも踏まえ、どのような議論をしていきたいですか。

(議長)

県議会に対する県民の理解促進を図る努力をしていかないといけませんし、様々な手法を用いて、開かれた議会に向けた情報発信力の強化を図っていくことが大事であると考えております。

(NHK)

情報発信と議会改革に関連しての質問なんですけれども、政務活動費に関してちょっとお尋ねしたいんですけども、政務活動費の透明性の確保というのが全国的に課題となっていて、この政務活動費の運用ルールについて新たな議会体制の中でマニュアルの見直しなど、そういったことを考えていく方針などありましたらお願いします。

(議長)

政務活動費につきましては、議長の諮問機関である議会改革検討協議会で継続的なテーマになっており、今年度も引き続き、必要に応じて協議していただけたらと思っております。

(NHK)

追加の質問なんですけど、必要に応じてという話だったと思えますけど、議長としてどういった観点で議論を進めていきたいとお考えでしょうか。

(議長)

議会改革検討協議会は、各会派の議員で構成されていますので、まずはこの協議会において、いろいろな観点から議論していくことが重要と思っております。

(NHK)

県議会では一昨年、プロジェクトチームを立ち上げて、政務活動費のマニュアルを改正したと思うんですけども、そういったことは新たな議会体制のもとで進めていく方針はありますでしょうか。

(議長)

必要に応じて検討したいと思っています。

(NHK)

追加でちょっと質問でして、政務活動費に関してなんですけれども、全国の議会で領収書のネット公開というのが、全国の過半数で進んでいるんですけども、愛媛県ではまだネット公開が進んでいないという現状があるかと思えますけれども、その現状について、議長の受け止めに教えていただけますでしょうか。

(議長)

各県においては、それぞれのお考えに基づき対応されていると思います。本県においても、これまで、各県の情報なども含め様々な情報を聞き取り、収集した中で、「今のところはそこまですべきじゃないのではないか。」といったような声もありましたので、繰り返しにはなりますが、引き続き議会改革検討協議会において、そのようなことも議論していただきたいと考えております。

(NHK)

ネットにおける公開については、新たな議会体制の中で検討するかどうかっていうのも中で議論していくというお考えでしょうか。

(議長)

政務活動費については、議会改革検討協議会において、毎年、テーマとして取り上げられていますので、必要に応じて議論していただきたいと思っています。

(副議長)

会派や議員間でいろいろな考え方がありますので、議会主導ではなく、そういった協議会の中で議論し合い、その結果を受けて対応するという事です。そういうやり方をこれまでどおり踏襲すべきと思っています。

(テレビ愛媛：幹事社)

その他、質問はいかがでしょうか。

(あいテレビ)

今回、正副議長ともに 40 票以上の得票となりましたが、これだけ多くの信任が得られたというところの分析としてはどのように捉えていらっしゃるのでしょうか。

(議長)

ほとんどの議員さんに御信任をいただいたということで、本当に身が引き締まる思いです。議会運営を公正、公平にしっかりと行い、先ほど申し上げましたけども、少数会派、小さな声にも耳を傾けるように努めていかなければならないと考えております。

(副議長)

合流した自民党会派の票がまとまった部分もあったかと思えます。また現在、いろいろな県政課題がありますが、特に、コロナ禍が明けた後の地域課題が山積しているため、議会の中である程度まとまっていかなければいけないという意識があったのではないかと考えています。

(テレビ愛媛：幹事社)

そのほか、質問の方はよろしいでしょうか。では、これで会見を終わります。